相模

祭事暦

７月１日・20日　午前８時30分
月次祭

７月14日　午後８時
浜降祭宵宮祭

７月15日　午前７時
浜降祭(於甫湖浜)

７月16日　午前11時
虫送り祭

発行所
寒川神社社務所
〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話　代表0467(75)0004
編集責任者　水谷智賢
印刷所　㈱さんこうどう

鎮守の森

海の日の早朝、この地方で行われる最も大きな行事の一つ「浜降祭」が斎行される▼寒川神社では当日の浜祭典を斎行するに当たり、前日の午後八時「浜降祭宵宮祭並遷霊祭」を斎行し、翌日祭典を執り行う旨を事前に大神様に御奉告し、諸行事の無事と安全を祈願の後、御神霊を御神輿にお遷しする▼さて「宵宮祭」とは全国の多くの神社で規模の大きな祭事の前夜に行われている祭典であり「宵祭」「前夜祭」と称すところも多い。もともと宵宮とは夜宮（ヨミヤ）でありすなわち忌屋（イミヤ）・精進入りを示す。従来より神職のみならず、祭りに関る者にとって、その前夜は極めて重要であるという意識から自ずと神社に参集し宵の祭りを行ってきた。神を敬い畏れるが故身をつつしむという至極自然な日本人らしい営みであるといえよう。祭りといえば当日の盛大かつ厳かな祭りを指すが、実はその前夜、宵のうちに祭りに対する高揚と心構えが始まっている▼ところで「宵」の語を繙くと〝夜になってまだ間もない頃、日の光が消えかけたとき〟の意がある「宵の口」「宵待ち」などという言葉は、正確に刻まれた時間の中で生活する現代人にとって、ゆったりとした時の流れを感じさせる趣のある言葉ではなかろうか。「今宵○○」などは歌の題名や歌詞にもよく登場する響きのよい言葉である▼平成十九年の気象庁予報用語改定により「宵のうち」が「夜のはじめごろ」に変更された。人によりその解釈に差異があるのが理由とのこと。心地好い深みのある日本語の使用される機会が一つ減ってしまったことに寂しさを感じるが、全国津々浦々の鎮守の森で行われている「宵宮」「宵祭」はこれからもずっと、その精神とともに受け継がれていくことであろう。

（小嶋大介）

遷宮で　結ぶ人の輪　心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

今月の祭事

浜降祭近づく

寒川神社　御神幸時間表

七月十五日（月）　海の日

午前
- 二時三〇分　発輿祭
- 引き続き　社頭発輿
- 三時四〇分　一之宮御通過
- 四時五〇分　田端（神輿を車輌に奉安）
- 五時三〇分　国道一三四号線西浜交差点（舁輿）
- 六時〇〇分　南湖浜祭場着御
- 七時〇〇分　浜降祭祭典斎行
- 祭典終了後　祭場発輿
- 八時三〇分　国道一三四号線（神輿を車輌に奉安）
- 九時一〇分　田端行在所供饌祭
- 九時四五分　一之宮行在所供饌祭
- 十時二〇分　寒川駅前公園　東日本復興祈願祭
- 十一時四〇分　寒川神社御旅所祭

午後
- 一時〇〇分　社頭還幸

暁の祭典

浜降祭

七月十五日（月）

湘南地方に本格的な夏の到来を告げ、神奈川県無形民俗文化財にも指定される＜暁の祭典―浜降祭―＞が海の日である十五日に斎行されます。

早朝より御祭主寒川神社の神輿を始め、寒川町内や茅ヶ崎市内に鎮座する三十四社の神輿三十九基が茅ヶ崎南湖の浜に集結し、浜祭典が執り行なわれ、国家安泰・五穀豊穣・大漁満足が祈願されます。

また本年は帰路、寒川駅前公園に寒川神社・倉見神社・菅谷神社の神輿が集結し、東日本復興祈願祭を執行、巫女により神前神楽「四方拝」が奉奏される他町内の保育園・幼稚園児が飾りつけた七基のダンボール神輿を展示、さむかわ棒コロの販売が行われます。

その後、神輿は商工会館前の御旅所にて祭典を執り行ない、午後一時社頭に還幸致します。

虫送り祭

七月十六日（火）
午前十一時

これから生育する農作物に害をもたらす病害虫を追い払い、天災にも見舞われず、稔り豊かな秋を迎えられるよう祈る祭事で、生産組合長参列のもと、豊作を祈念した神札が各農家に頒かたれます。

暑中お見舞申し上げます

宗教法人　寒川神社

責任役員
横溝　隆義　市川　元久
入澤　一三　中島　啓介

顧問
藤沢　賢一　伊藤　留治
小林　亮　山田　文夫
飯田　誠　根本　康明
山上　貞夫　藤田　善三

参与
髙橋　春吉　金子　昭
大川　静男

総代長
小菅　弘髙

副総代長
小菅　隆志

総代
金子　紋彌　栢沼　邦夫
古谷　喜洋　砂川　弘
佐藤　征一　石井　進
市川　正彦　杉山　光弘
福岡　琢也　横溝　貞義
矢野　敏明　矢島　廣
奥田　嘉男　中村　正男
江川　辰夫

神道政治連盟国会議員懇談会

御神酒「総理」がふるまわれる

日本の歴史・文化・伝統を後世に伝えることを目的とし、皇室の尊厳護持運動や外交・領土問題等多岐に亘り活動を行っている神道政治連盟では、中央委員会開催前日の六月十一日、国会議員懇談会役員と神道政治連盟役員との合同懇談会を開催致しました。

懇談会では各氏の挨拶が行われた後、司会を務められた有村治子参議院議員より「安倍首相に相応しい縁起の良いお酒」と紹介頂いた、当神社の御神酒「総理」で乾杯がなされました。

また、公務等多忙を極める安倍晋三内閣総理大臣も駆け付けられ、利根宮司より手渡しにて「総理」が贈呈されると「大変美味しく飲みやすいお酒」と安倍総理大臣より親しみを込めたお言葉を頂戴しました。

安倍総理と握手する利根宮司

❖全総代会開催

神社の運営等にご尽力頂く、寒川神社をはじめ町内の兼務神社の総代により組織される「全総代会」が六月一日に開催されました。

当日は入澤一三責任役員が議長に選出され、社務報告、本年度会計の補正予算、次年度歳入歳出予算等について詳細な報告がなされました。

前名誉宮司瀧本正彦大人命十五年祭

――墓前に現況を奉告――

前名誉宮司瀧本正彦大人命は、平成十年六月七日に静岡県島田市の御自宅にて、ご家族に見守られながら安らかに永眠され、幽界に神去りましてより早くも十五年の年月が流れました。

故人は、昭和三十年に禰宜として赴任、昭和三十九年に宮司に就任され、その後境内整備や八方除の信仰を中心とした御神徳の高揚に努められた他、参集殿・寒川病院・神恵苑の開設、青少年育成事業、平成の御大典奉祝記念事業など数々のご功績を残され、今の寒川神社の礎を築かれました。

大人命の十五年祭はご家族にて執り行われましたが、利根宮司が奥津城（お墓）にお参りし、在りし日を偲び、御実績に感謝の念を捧げると共に、寒川神社の現況を奉告申し上げました。

浪速神楽講習会開催

浪速神楽講師、今江隆道先生をお招きし、六月十一日より十三日にかけて若手神職・巫女を対象に、講習会を開催致しました。

この神楽は江戸時代に浪速の地で生まれた巫女舞で寒川神社では祭典や正式参拝などで奉奏しております

先生には三日間懇切丁寧に舞と楽をご指導頂き、受講者も大前にて御神慮に叶う奉奏ができるよう熱心に取り組んでおりました。

暑中御見舞申し上げます

相模國一之宮 寒川神社

名誉宮司　多田一馬
宮司　利根康教
禰宜　石腰亮
〃　渋谷幹寛
〃　白岩修治
権禰宜　川見順春
〃　前島正
〃　鈴木康宏
〃　山田栄
〃　水谷智賢
〃　武田勉
〃　西井義行
〃　國廣弘
〃　大関光佐雄
〃　石黒邦彦
〃　井上浩之
〃　長倉基博
〃　田中義宣
〃　井出貴史
〃　坂本晋一
〃　長谷川潤
〃　櫻井貴基
〃　小嶋大介
〃　丹下英紀
〃　野村尚広
〃　田中喜隆
〃　伊藤龍哉
〃　中西正史
〃　高畠弘
〃　小野俊之
〃　水谷祐也
〃　國生隆也
〃　立岩秀夫
〃　犬上亙佑
〃　藤岡義久
〃　小澤佳次
〃　田村拓之
主典　小松義麿
〃　浄見陸
〃　渡邉昌紀
〃　加藤千理
〃　松橋嶺行

主典　香田俊介
巫女　猿橋由唯
〃　東智香
〃　鈴木美波
〃　町田れいか
〃　硲美佳
〃　増島美和
〃　秋元茉莉子
〃　加藤さえこ
〃　上野智尋
〃　鶴田麻樹
〃　荒金優奈
〃　岩澤真由
〃　佐藤真帆
〃　櫻木谷美里
〃　長濱理衣
〃　鈴木しづか
〃　中村佳代
参事　山口里美
〃　松本みな子
〃　渡部尚美
主事　間山恵
〃　関良子
〃　森好子
〃　大谷薫
〃　鷹野智子
〃　岩永亮一
〃　齋藤千明
録事　谷澤紗也佳
〃　伊藤綾子
〃　原四郎
〃　佐原慧
〃　福井麻耶
用務員　井出彰
嘱託　田邉あけみ
〃　横溝和也
〃　堀口邦人
〃　田路晴子
〃　新垣盛仁
〃　川﨑賢治
〃　中川卓二
〃　林峯生
〃　加藤誠二

嘱託　鈴木正明
〃　分部隆
〃　玉木利夫
〃　長澤秀雄
〃　中島光雄
〃　山本則雄
〃　加藤利幸
〃　荒木みち子
〃　小野寺美夫
〃　渡邉寿夫
〃　小泉幸造
〃　藤野尚則

寒川神社参集殿

殿長　石腰亮
殿長代理　岩清水弘子
予約課長　府川美紀
〃　奥川優子
〃　塚越由佳
〃　杉山史織
経理課主任　菅野絵美子
経理課　安保幸子
総務課　中村律子
〃　木村禎成
管理課　武井達哉

寒川神社寒川病院

病院長　鳴海裕之
副病院長　栗田啓司
〃　尾崎政則
総看護師長　安藤るり子
医局長　木勢佳史
医師　大上麻由里
〃　武村文夫
〃　車田知之
〃　原正
〃　早苗努
〃　赤塚正洋
〃　劉孟娟
〃　石田正之
薬剤係長　福富大樹
薬剤師　小池ちひろ
〃　小倉みのり
〃　川﨑万里奈

看護師長　益子美智子
〃　酒井文子
〃　菊野朝子
〃　地主真紀
主任看護師　齋藤睦子
〃　髙松直子
〃　菊池みのり
看護師　常盤いね
〃　友寄深愛
〃　新谷葉美
〃　福田由紀子
〃　森川春華
〃　安藤由美子
〃　港美和子
〃　中嶋甲子
〃　古屋郁子
〃　荻野香世
〃　竹之内愛美
〃　宇戸由美子
〃　伊藤末美
〃　礒﨑由香子
〃　石黒明奈
〃　大津いずみ
〃　佐藤由夏
〃　高野奈津子
〃　志沢静香
〃　髙橋幸恵
〃　田畑千佳
〃　千葉孝一
〃　和氣智子
〃　小泉勝美
〃　松本留美
〃　佐藤明美
〃　飯野博史
〃　福永三智子
〃　布施麗子
〃　権上香織
〃　辻洋子
〃　下村時子
〃　桂川ゆかり
〃　三澤美咲
〃　石川理加
〃　戸室千恵美
〃　島村睦子
〃　橋本倫
〃　村山直子
〃　臼木真理子
〃　水村礼子

看護師　若松真奈美
〃　巣籠菜美
〃　島村優子
〃　中西千夏
放射線係長　里吉恵太
放射線技師　菊地麻弥
〃　五十嵐明子
〃　藤井康仁
検査主任　小関恵利子
検査技師　髙橋知佳
〃　高橋直子
〃　佐藤敏枝
〃　菱沼美紀
リハビリテーション主任　相原忠洋
理学療法士　村田有奈
〃　齋藤智美
地域連携主任　大林由美子
社会福祉士　小沼ふみ
視能訓練士　佐内彩香
看護助手　臼井弘子
〃　金井眞由美
〃　磯尾美枝
〃　木村馨
〃　角田聡子
健康管理課長　能條節也
会計課長　新倉志朗
健康管理係長　森下晋作
医事係長　稲垣直哉
健康管理主任　滝澤康之
医事主任　久保友歌里
会計主任　小島文子
事務員　中曽根岩子
〃　三枝ちひろ
〃　椎野恵子
〃　太田静花
〃　高橋佑輔
〃　内田桂太
〃　福川優子
〃　岩館美和
〃　島居真奈美

さむかわ訪問看護ステーション

管理者　松本由美
看護師　池田志美子

介護老人保健施設 寒川神社神恵苑

苑長　内山光昭
事務長　渡邊マツ子
師長　渡辺雪子
支援相談科科長　長塚恭士
管理課主任　鈴木誠
会計課　佐藤友紀子
施設ケアマネージャー　杉崎伸代
管理栄養士　石井麻由美
薬剤師　坂倉礼子
理学療法科主任　筒井亜樹
理学療法士　秋山恵
看護主任　田口浩美
看護職員　川尻佐美子
〃　山浦和美
〃　金子美代子
〃　広兼絹枝
介護科主任　田口真由美
介護職員　冨田薫
〃　寺田利恵子
〃　福田久美子
〃　近田典子
〃　鴨山和弘
〃　井上瞳
〃　金子和世
〃　高橋宏二
〃　熊沢律子
〃　武田佳子
〃　鳥澤晶美
〃　今道さつき
〃　鈴木加奈美
〃　赤城比呂子
〃　溝江美雅
〃　齋藤真衣
〃　安田孝子
〃　阿部珠美
〃　加瀬美穂
〃　赤城基予子
〃　由井由貴枝
〃　今井ツヤ
通所リハビリテーション主任　大山瀧子
通所リハビリテーション　渡辺裕子
〃　平野智弘
居宅支援事業所主任　中村智真子
居宅支援事業所　日田旭

第四十四回 相模薪能のご案内

と　き　平成二十五年八月十五日（木）
午後五時開場　午後五時三十分開演

ところ　寒川神社境内特設能舞台
小雨決行につき雨具をご準備下さい。
※荒天時－寒川総合体育館

番　組
◆能　絵　馬　観世　喜正ほか
◆狂言　伊文字　野村　萬斎ほか
◆能　歌　占　中森　貫太ほか

申込方法　往復葉書に住所・氏名・年齢・電話番号を楷書で明記のうえ下記要項によりお申し込み下さい
（先着　一、〇〇〇名）

申込先　〒253－0195　神奈川県高座郡寒川町宮山三九一六
寒川神社　相模薪能係

お問合せ　電話　〇四六七－七五－〇〇〇四　相模薪能係
電話での申し込みは出来ません。

▶能「絵　馬」

◀狂言「伊文字」

《往信》
表　253-0195
神奈川県高座郡寒川町
宮山三九一六
寒川神社
相模薪能　係

裏　住所……
氏名……
年齢……
☎……

《返信》
表　郵便番号
〇〇県〇〇市〇〇町
〇－〇－〇
〇〇〇〇　様
（ご自身の住所・氏名）

裏　裏面は記入なしでお申し込み下さい。

※お１人様１枚限り（中学生以上）
※鑑賞券の転売は固く禁止致します

▶能「歌　占」

方徳資料館ニュース

★新展示のご案内

方徳資料館では「古代人の祈り―祓いと鎮め」を新規に展示しております。本展では古代における祭祀具を復元して、古より続く祓いと鎮めの信仰とはいかなるものだったのかを展示紹介しております。またこの寒川の地においても同様の信仰が根付いていたことを示す史料なども展示しております。

▲「墨書人面土器」
（長岡京出土複製）

境内整備事業

「太鼓橋改築」工事奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十五年五月奉賛者】（順不同・敬称略）

五十万円　藤原　敬悟　千葉県佐倉市
十万円　澁谷サチ子　厚木市下荻野
一万円　石黒　惠幸　寒川町宮山

❖青少年活動だより

BS寒川第二団

―発団四十周年記念式典開催―

寒川第二団は昭和四十八年に発団して以来本年で四十周年を迎え、六月九日に記念式典を開催致しました。

当日は、神池橋前にて記念写真を撮影。午前九時三十分より御本殿にて奉告祭を斎行致しました。

記念式典は会場を寒川神社参集殿に移し開催、利根育成会長・前島団委員長より、団の歩みや御礼の挨拶がなされ、長年に亘りご理解とご協力を頂いた方々に感謝状が贈呈されました

▲ロービーを飾る団結の旗

次にこの式典に御臨席頂いたご来賓を代表し、寒川町長の木村俊雄様、全国神社スカウト協議会会長大國魂神社宮司猿渡昌盛様にご祝辞を賜った後、スカウトによるスライドショーや団結の踊りハカも披露されました。

アトラクションは語り部の平野啓子さんにより「スサノオノミコト～意外な幼少時代、そして結婚厳格な父に～」をお話し頂きました。

日本神話はスカウト活動にも通ずるものがあり、出席者一同感銘を受け式典の幕を閉じました。

▲平野啓子さんの「神話の語り」

▲一致団結　ハカの実演

宮山神輿愛好会お田植祭

❖奉納米の豊作を祈念

六月十六日、宮山神輿愛好会のお田植祭が神饌田にて執り行われました。

当日は生憎の梅雨空でしたが、満々と水を湛えた田の畦道にテントを張り、祭壇を設け祭典を執行し今年の豊作を祈念、会員により苗が整然と慣れた手つきで植え付けられました。

丹精込めて育てられ収穫されたお米は、今秋に伊勢の神宮と寒川神社へと奉納されます。

平成25年7月21日(日)
10:00～16:00(要予約)

成約特典！
当日挙式の申し込みをすると特典プレゼント

神前結婚式ご案内会

ご婚礼料理試食会

■ 和洋料理、お一人様ワンコイン(500円)でメイン他数品お召し上がりいただきます。
■ 12：40開始（予約制）

※ 写真は、和洋料理『幸』です。季節により料理が変更になる場合がございます。

◇ 衣裳・美容体験　10:00 ～
◇ 挙式セミナー　11:00 ～
◇ 奉告の儀　11:20 ～
◆ 記念写真プレゼント ◆

◇ 模擬挙式　12:00 ～
◇ 試食会＆ミニ披露宴（予約制）12:40 ～
● 各種相談コーナー（随時）
● カラーコーディネート（随時）
● 人力車乗車体験　（随時）

※ 都合により催し内容が変更になる場合がございます。

相模國一之宮　寒川神社参集殿
☎0467-75-5555

健康手帳 441

病は気から！

宗教法人 寒川神社 寒川病院
内科医長　武村　文夫

偽薬効果（ぎやくこうか）プラセボ効果（プラシーボ効果）とは、偽薬を処方しても、薬だと信じ込む事によって何らかの改善がみられる事を言います。この改善は自覚症状に留まらず客観的に測定可能な状態の改善として現われる事もあります。病気の症状自体の改善というよりは、「薬を飲んでいる」事による精神的な安心感の方が目的となる事もあります、逆に効果のある薬剤でも不安を持ちながら飲み続けると、全く効果が得られない場合もあります。近年、喘息患者を対象にした研究で、プラセボや偽の鍼治療などをしても何ら病状は改善されないが、主観的な呼吸苦は西洋医学的な吸入薬と同等の改善が見られた、との報告もあります。

偽薬効果が存在する可能性は広く知られており。特に痛みや下痢、不眠などの症状に対しては、偽薬にもかなりの効果があるとも言われており、治療法のない患者や、副作用などの問題のある患者に対して安息をもたらすために、本人や家族の同意を前提として、時に処方される事があります つまりお薬は患者さんの信頼により効果が増強されることも、減弱してしまうこともあり、医者との信頼関係、薬剤に関する信頼などメンタル面に依存する比率が非常に大きく影響するものと思われます。

昔から病は気からと言われるように、病気は悪いほうに考えると、あれも、これもと不安は非常につのります。逆に少し視点を変えて良いほうに考えてみると病気の治りも早くなるような気がします。ただくれぐれも癌や、脳血管障害、虚血性心疾患、糖尿病など本当に早期診断早期治療を必要とする疾患の可能性もありますので、楽天的に考えるのみで無く、気になったら一度はちゃんと医療機関を受診して、治療の機会を逸することなくちゃんとした診断は受けるように心がけてください。また病院では上記のようなプラセボ薬を処方することは特例としてごく限られた症例のみであって、通常はほとんどの患者様に、ちゃんと薬理効果の実証されている治療薬を処方していますので誤解されないようにしてください。

人事

◆退職

＜寒川神社＞

巫女　野島　千尋
願いに依り職を免ずる
平成二十五年六月三十日

＜さむかわ訪問看護ステーション＞

看護師　米川加奈子
願いに依り職を免ずる
平成二十五年六月三十日

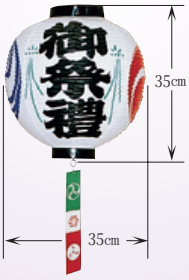
＜神恵苑＞

准看護師　片岡　聖信
願いに依り職を免ずる
平成二十五年六月三十日

祭礼提灯の斡旋について

寒川神社商工奉賛会では祭礼提灯の斡旋を行っております。

寒川神社商工奉賛会
☎　〇四六七(七五)〇〇〇四
価格　一灯　三、〇〇〇円
玄関先に掲げ、お祭りをお祝い致しましょう。



医療講演会のご案内

と　き　７月29日(月)
午後２時～３時

ところ　寒川神社 参集殿

内　容　「町の健診について」

医　師　健康管理科医長
車田　知之

入場無料　申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467－75－6680
寒　川　病　院

多川俳壇

うっすらと月あり卯の花腐しかな　露木てる子
紫陽花の毬に埋もれる屋敷神　根岸　君子
夕薄暑花街に猫の鈴の鳴る　相原　白蕗
田の面を風のごとくに夏燕　松本美智子
緑蔭や遠山にある雲白し　竹村真砂美
通り抜け禁止を通る青時雨　宮入　つる
田植機の音分校に届きおり　四ッ車梢月
側溝の匂ふ浦町夕薄暑　芹沢　徳光
裏木戸の崩れかけをり蛇苺　松村　信篤
晩酌の相手は鉢の金魚かな　飛石　槿花
緑蔭や歩数確かむ万歩計　菅沼うめの
短夜のまた確かむる旅カバン　倉谷　節子
読みさしの表紙色褪せ桜桃忌　伊藤　公一
野良に出る母に手渡す夏帽子　皆川志んご
蒼天に背伸びいっぱい今年竹　菅沼　保幸
紫陽花の下に実朝の海ひかり　岡田風呂釜
午後の陽のとどいていたる薄暑かな　山本　朝子
鳴く度に闇のふくらむ蟇　金指　月光
古き家の薫風に立つ樟大樹　浦野　房子
心経のつまづく八十八夜寒　市本　益子
書棚にて位置の揺るがず太宰の忌　岩田美代子
上流は師匠の漁場鮎の川　三輪　恭子
雲が雲追いかけてゆく濃紫陽花　金子　つぢ
山からは恵み上水桜桃忌　原野　楽天

七月　手水舎奉掲

御　製

ふり仰ぐ　かの大空の　あさみどり
かかる心と　思し召しけむ

相模詠草

挿し木せしバラの冬越し若芽出すわくわくしつつ移植するなり　徳江　道子
皇紀二千六百年記念植樹の楠若葉み社の杜の淡く香ぐわし　宇田川時子
棚の上ここは敵なし猫の「九」大の字姿にすやすや眠る　土屋トミ子
可憐なる真白き小花卯の花の散りてしまいぬ少しさみしい　浜田　寿子
こいのぼり見事百匹連なりて空の海原元気に泳ぐ　山口　幸子
庭隅に清楚に咲き初む都忘れ花の香ほのかに春はここにも　山根喜美代
圏央道今日開通す徒歩三里高架に眺む富士は雄大　亀山　文子
「お具合はいかがですか」と電話くるるその一言にほっと和めり　安藤　慧
紫の藤の花房六十センチ風にゆられて匂いつつ散る　川島惠美子
筍とふきの煮物を大皿に盛ればうれしい春の味する　天利　春枝
今朝の富士晴れ晴れと見ゆ若き日の頂上に立ち感激かえる　三留とく子
絶えまなく車の通ふ道の辺のあれたるやぶに鶯のなく　堀江　照子
薄絹のドレスの裾の揺れるごと牡丹開く朝のひととき　宮治友美枝
雨やみて色増す緑鮮やかに沈みし心にあたたかく沁む　岡元　芳子
水色の羽根ひらめかせ目の前を飛び去る鳥よ　汝の名知らず　杉本　照世

表紙写真説明

南湖の浜にて天下泰平・五穀豊穣・大漁満足を祈る

編集後記

七月七日は七夕。織姫と彦星の逢瀬の話は有名だが、新暦では梅雨時期となるので雨が多く、二人は会うのに苦労をしているものと思われる。さて本年はどうであろうか？

(宣)